

第271回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和6年2月17日(土)
会 場 ステーションコンファレンス東京 5・6階 (千代田区)
第I会場 (503CD)
第II会場 (503AB)
第III会場 (501A)
第IV会場 (501B)
第V会場 (605BC)
第VI会場 (602AB)
第VII会場 (602CD)
PCセンター (501S)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4～6階
TEL 03-6888-8080

会 長 三井記念病院循環器内科
田邊 健吾

御 案 内

1. 参加費：会員／非会員(医師)、企業 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。
2. 受付時間：参加受付 8:30-18:10
PCセンター 8:30-17:30
3. 一般演題発表時間：口演6分、討論4分
4. Award：Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。
選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)
Student Award：第II会場：17:00-18:10
Resident Award：第I会場：17:00-18:10
Case Report Award：第I会場：16:00-16:50
Clinical Research Award：第II会場：16:00-16:50
なお、以下の項目が審査の対象となります。
 - 1) 正しい医学用語の使用
 - 2) 発表時間の厳守と態度
 - 3) 考察
 - 4) 質問に対する応答
 - 5) 循環器臨床に対する貢献度表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。
5. その他：会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただくかマナーモードに設定して下さい。
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内：

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

評議員会：地方会終了後、第I会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会：第272回地方会は次の通りです。

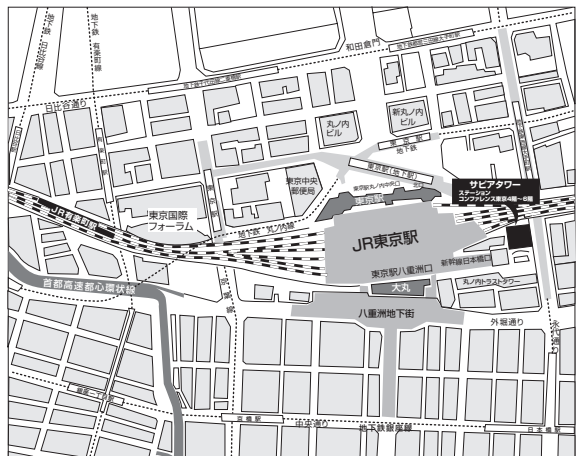
日時：令和6年6月1日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：吉岡 公一郎

(東海大学医学部内科学系循環器内科学)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7出口から直結

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。

●Windows でデータを作成された場合：データをお持ち下さい

- USBフラッシュメモリに保存してご提出下さい。
(DVD・FD・MO等は受付できませんのでご注意ください。)
- OSはWindows 10、アプリケーションはPowerPoint 2013、2019、2021に対応しております。
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- フォントはOS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。
日本語：MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
英語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフルHD (1,920×1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の30分前までにPCセンターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。
午前の最初のセッションの時間帯ではPCセンターが混雑しますので、お早めにお越し下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなりません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

●Macintoshでデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい

- 必ずACアダプターをご用意下さい。



HDMI



HDMI



付属外部出力ケーブル 例

- 動画もご利用いただけますが、再生できることをPCセンターで必ずご確認ください。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMIによるモニター出力が必要です。
ご持参いただくPCからHDMIへの 変換コネクタが必要な場合は、各自でご用意下さい。 HDMI以外の接続はお受けできませんので予めご了承下さい。
- ご講演時は演台にあるマウス又はキーパッドにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続にUSBポートを使用するため、USBポートがないPCをお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-CからUSB変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- 電源ケーブルを必ずご持参下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の30分前までに、PCセンターで試写を行ってください。PCセンターならびにPCオペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため発表用データのバックアップを必ずご持参下さい。
- ご持参頂くPCに保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。
- PCをお預かり時にお渡しする半券はPC返却時に必要ですので大切に保管して下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなりません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参下さい。

第271回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和6年2月17日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：三井記念病院循環器内科 田邊 健吾

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場	
8:50	開会挨拶						
9:00	研修医セミナー 9:00-10:30 循環器症例検討会ことはじめ	9:00	会長企画セッションⅠ 9:00-10:30 講演会での企業による事前スライドチェックの現状と課題	9:00	循環器病対策推進委員会 企画セッション 9:00-10:30 各都県による循環器病対策推進の取り組み：第2期に向けて	9:00	一般演題 9:00-10:20 先天性/高血圧・低血圧/ その他/全般的問題 セッション1
10:30	休憩	10:30	休憩	10:30	休憩	10:20	休憩
10:40	教育セッションⅠ 10:40-12:10 若手循環器医師へ伝えたい熱いメッセージ 演者：山口 徹 (虎の門病院循環器センター内科) 演者：高梨秀一郎 (川崎幸病院川崎心臓病センター心臓外科) 演者：小室 一成 (国際医療福祉大学・東京大学先端循環器医科学)	10:40	教育セッションⅡ 10:40-12:10 新しい診断技術・治療法を学ぶ 演者：青木 二郎 (三井記念病院循環器内科) 演者：橋本 順 (東海大学医学部専門診療学系画像診断学) 演者：後藤 信哉 (東海大学医学部内科学系循環器内科)	10:40	学術委員会企画セッション 10:40-12:10 循環器専門医に知っていてほしい！心臓細動アブレーション最新の話題	10:40	成人先天性心疾患セッション (日本循環器学会学術委員会 教育セッション) 10:40-12:10 「ACHDのファーストタッチから専門診療まで」
12:10	休憩	12:10	休憩	12:10	休憩	12:10	休憩
12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー1 共催：アポットメディカル ジャパン合同会社	12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー2 共催：日本ベリンガー インゲルハイム株式会社/ 日本イーライリリー株式会社	12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー3 共催：キヤノンメディカル システムズ株式会社	12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー4 共催：ノバルティスファーマ株式会社
13:10	休憩	13:10	休憩	13:10	休憩	13:10	休憩
13:30	会長企画セッションⅡ 13:30-14:30 勝負所で力を発揮するためには？	13:20	教育セッションⅢ 13:20-14:50 運動負荷心エコーを学ぶ 演者：小保方 優 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 演者：太田 光彦 (虎の門病院循環器センター内科) 演者：柴山謙太郎 (東京心臓血管・内科クリニック)	13:20	一般演題 13:20-14:50 弁膜症 セッション11	13:20	一般演題 13:20-14:50 心臓血管外科セレクション セッション12
14:30	休憩	14:50	休憩	14:50	休憩	14:50	休憩
15:00	15:00-15:50 デザートセミナー1 共催：ポストン・サイエンティ フィック ジャパン株式会社	15:00	15:00-15:50 デザートセミナー2 共催：アストラゼネカ株式会社/ 小野薬品工業株式会社	15:00	15:00-15:50 デザートセミナー3 共催：日本メドトロニック 株式会社	15:00	15:00-15:50 デザートセミナー4 共催：日本アビオメッド株式会社
15:50	休憩	15:50	休憩	15:50	休憩	15:50	休憩
16:00	16:00-16:50 Case Report Award	16:00	16:00-16:50 Clinical Research Award	16:00	16:00-16:50 デザートセミナー6 共催：エドワーズライフ サイエンス株式会社	16:00	16:00-16:50 デザートセミナー7 共催：バイエル薬品株式会社
16:50	休憩	16:50	休憩	16:50	休憩	16:50	休憩
17:00	17:00-18:10 Resident Award	17:00	17:00-18:10 Student Award				
18:10	閉会挨拶	18:10					
18:20	評議員会						

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション、医療安全・医療倫理に関する講習会）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。
また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）、医療安全・医療倫理に関する講習会（2単位）はそれぞれ単位の登録手続を行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

- 「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:10（開催終了まで）
- 「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40/12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）
- 「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

	第V会場	第VI会場	第VII会場
9:00	一般演題 9:00-10:00 心筋炎・心筋症1 セッション2	一般演題 9:00-10:00 心内膜炎 セッション3	一般演題 9:00-10:00 虚血性心疾患1 セッション4
10:00	休憩	休憩	休憩
10:10	一般演題 10:10-11:10 心筋炎・心筋症2 セッション5	一般演題 10:05-10:55 肺高血圧 セッション6	一般演題 10:05-11:05 虚血性心疾患2 セッション7
11:10	休憩	休憩	休憩
11:20	一般演題 11:20-12:10 心筋炎・心筋症3 セッション8	一般演題 11:00-12:10 心不全 セッション9	一般演題 11:10-12:10 虚血性心疾患3 セッション10
12:10	休憩	休憩	休憩
12:20	12:20-13:10 ランチョンセミナー5 共催：ファイザー株式会社	12:20-13:10 ランチョンセミナー6 共催：フクダ電子東京販売株式会社	12:20-13:10 ランチョンセミナー7 共催：田辺三菱製薬株式会社/ 日本イーライリリー株式会社
13:10	休憩	休憩	休憩
13:20	第18回 ダイバーシティ・フォーラム/ 循環器専門医試験対策セミナー 番外編 13:20-14:50	一般演題 13:20-14:30 不整脈1 セッション13	一般演題 13:20-14:20 虚血性心疾患4 セッション14
14:50	休憩	休憩	休憩
15:00	15:00-15:50 デザートセミナー5 共催：日本ライフライン株式会社	一般演題 14:40-15:50 不整脈2 セッション15	一般演題 14:30-15:50 大動脈/静脈/末梢血管 セッション16
15:50	休憩	休憩	休憩
16:00	一般演題 16:00-17:00 心膜・腫瘍/腫瘍循環器 セッション17	16:00-16:50 デザートセミナー8 共催：JSR株式会社	16:00-18:00 医療安全・医療倫理に関する 講習会（DVDセッション）
17:00	休憩	休憩	
17:10	一般演題 17:10-18:00 デバイス セッション18	会長企画セッションⅢ 17:00-18:00 笑いを診療にとりいれよう！	
18:00			

第 I 会場

研修医セミナー

9:00-10:30

座長 (三井記念病院循環器内科)	矢作 和之
座長 (聖路加国際病院循環器内科)	浅野 拓
コメンテーター (虎ノ門病院)	天海 英亮
コメンテーター (順天堂大学)	土居 健太
コメンテーター (新潟県立中央病院)	西 晃弘
コメンテーター (東京医科大学)	山崎 天恵

循環器症例検討会ことはじめ

【症例に関連したミニレクチャー】

(新潟大学医歯学総合病院循環器内科)	大久保健志
(虎の門病院循環器センター内科)	播磨 綾子
(東京医科大学病院循環器内科)	小林 正武
(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科)	大内 翔平

【症例発表】

転移性肺がんの術前検査で見つかった重度MRの一例
(聖路加国際病院循環器内科) 伊佐幸一郎

冠動脈バイパス術後に心不全を来した一例
(三井記念病院循環器内科) 三木 広亮

教育セッション I

10:40-12:10

座長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学)	伊苺 裕二
座長 (順天堂大学医学部心臓血管外科)	田端 実
座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科)	武田 憲文
コメンテーター (虎の門病院分院循環器内科)	藤原 秀臣
コメンテーター (三井記念病院心臓血管外科)	東野 旭紘
コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科)	川上 俊成

若手循環器医師へ伝えたい熱いメッセージ

臨床の面白さとやりがい
(虎の門病院循環器センター内科) 山口 徹

心臓外科の面白さとやりがい
(川崎幸病院川崎心臓病センター心臓外科) 高梨秀一郎

循環器病学の未来
(国際医療福祉大学・東京大学先端循環器医科学) 小室 一成

ランチョンセミナー 1

12:20-13:10

共催：アボットメディカルジャパン合同会社
座長 (三井記念病院) 田邊 健吾

「日循ガイドラインから紐解くCMD診療の実際とコツ」
(熊本大学病院) 辻田 賢一

会長企画セッションⅡ

13:30-14:30

司会 (アナウンサー) 高橋 友希
司会 (三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾
コメンテーター (東京慈恵会医科大学循環器内科) 小川 崇之
コメンテーター (心臓血管研究所付属病院循環器内科) 及川 裕二

勝負所で力を発揮するためには？

(プロ野球解説者) 江川 卓

※こちらのセッションは混雑が予想されますので、当日10:30より参加費受付横にて整理券を配布いたします。
(130枚を予定)

整理券はなくなり次第終了とさせていただきます。なお、満席の場合は会場後方に立ち見席を若干ご用意する
予定です。予めご了承ください。

デザートセミナー 1

15:00-15:50

共催：ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長 (心臓血管研究所付属病院) 松野 俊介

「Be a General Cardiologist」—若手医師に送るNext Specialtyへの道—

私は、AF Ablation、ICD植込みで不整脈を治療する

(江戸川病院) 藤田 雅樹

私は、Structural Heart Diseaseを治療する

(さいたま赤十字病院) 羽田 泰晃

Case Report Award

16:00-16:50

座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩

座長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊苺 裕二

審査委員長 (日本大学病院循環器内科) 松本 直也

審査委員 (上尾中央総合病院循環器内科) 緒方 信彦

審査委員 (横浜市立大学医学部循環器内科学) 日比 潔

審査委員 (帝京大学医学部附属溝口病院第四内科) 鈴木 伸明

I-1 ハンドグリップ負荷心エコーが病態究明および治療効果判定に有用であった急性機能的僧帽弁閉鎖不全症
の一例

(三井記念病院循環器内科) 北村 駿

阿佐美匡彦、田中 旬、大島 旭、権田 勇樹、

芦浦 大輝、堀内 優、矢作 和之、小宮山浩大、

湯澤ひとみ、青木 二郎、田邊 健吾

I-2 肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症を発症した一卵性双生児例

(北里大学医学部循環器内科学) 河合 良樹

石井 俊輔、飯倉早映子、江田 優子、瀧上 悠、

藤田 鉄平、飯田祐一郎、池田 祐毅、鍋田 健、

阿古 潤哉

(国立循環器病研究センター心臓血管内科部門肺循環科)

大郷 剛

(国立循環器病研究センター病理部) 大郷 恵子

I-3 RNF213 R481Kホモ接合型変異による全身性多発血管病変・重症肺高血圧症の一例

(慶應義塾大学医学部循環器内科) 関根 乙矢

勝俣 良紀、平出 貴裕、桃井 瑞生、白石 泰之、

岸野 喜一、安西 淳、香坂 俊、家田 真樹

I-4 抗ミトコンドリアM2抗体陽性筋炎を背景としたHF_rEFの一例

(長岡赤十字病院循環器内科) 岩崎 壮史
藤田 俊夫、富田 任、黒川 孝国、岩崎 康展

I-5 腎細胞癌に伴う腎動静脈シャントを背景とした高拍出性心不全の一例

(新潟市民病院循環器内科) 荻部 哲也
岡村 俊孝、瀬尾 友太、内田 純也、小柳 宣人、
渡辺 光洋、柏 麻美、田中 孔明、保坂 幸男、
土田 圭一、高橋 和義
(新潟市民病院循環器内科/新潟大学医歯学総合病院循環器内科) 尾崎 和幸

Resident Award

17:00-18:10

座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 藤田 英雄
座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹
審査委員長 (東邦大学大学院医学研究科循環器内科学) 池田 隆徳
審査委員 (東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎
審査委員 (日本医科大学付属病院循環器内科) 浅井 邦也
審査委員 (榊原記念病院循環器内科) 七里 守

I-6 待機的血行再建術前における微小血管抵抗予備能と微小循環抵抗指数との微小血管機能評価の不一致

(土浦協同病院循環器内科) 黄 恵
羽田 昌浩、峯尾 堯、田原 智大、瀬戸口実玲、
野上 開、上野 弘貴、長嶺 竜宏、白井 英祐、
角田 恒和
(東京医科歯科大学循環器内科) 米津 太志、笹野 哲郎

I-7 心室細動の原因として産褥期心筋症が強く疑われた一例

(川口市立医療センター循環器科) 三輪明日香
栗藤 直季、増田 光、新井 基広、庄司 泰城、
笹 優輔、須貝昌之助、林田 啓、渥美 渉、
池田 敦、立花 栄三、國本 聡

I-8 デバイス抜去後に右心系感染性心内膜炎および感染性大動脈瘤破裂をきたした1例

(横浜市立大学医学部循環器内科) 福本 奈央
鈴木 徹、岩橋 徳明、日比 潔、石上 友章、
小西 正紹、小村 直弘、峯岸慎太郎、成川 雅俊、
川浦 範之、相澤広太郎、菅野 晃靖

I-9 全身塞栓症を合併した左房左室内に同時に発生した血液嚢腫の一例

(昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 須郷加奈子
柴田 恵多、浅川 将輝、石永 智之、草壁 優太、
相澤 直樹、古屋 貴宏、佐藤 千聡、西藏 天人、
池田 尚子、若林 公平、丹野 郁
(昭和大学江東豊洲病院心臓血管外科) 山口 裕己

I-10 右室左室同時圧測定により算出したSAI (systolic area index) を用いて収縮性心膜炎を診断した一例

(総合病院国保旭中央病院循環器内科) 青井 瑤子
阿部 拓斗、荒川 雅崇、石田 暉、市原 慎也、
井ノ口安紀、長田 遊貴、佐橋 秀一、外田 望、
濱野 洋、早川 直樹、平野 智士、宮地浩太郎、
三輪 宏美、本康 宗佳、矢島 琴音、山口 雄己、
久慈 広樹、速水 康成、櫛田 俊一

I-11 肺動脈吸引細胞診により診断に至った緩徐に経過した肺腫瘍血栓性微小血管症の一例

(聖マリアンナ医科大学循環器内科)

宮本 啓佑

宮原 大輔、桑田 真吾、村田理沙子、小田隆太郎、

奥野 泰史、出雲 昌樹、石橋 祐記、田邊 康宏、

原田 智雄、明石 嘉浩

I-12 ¹²³I-BMIPP無集積によってI型CD36欠損症と診断し得た低左心機能の一例

(虎の門病院循環器センター内科)

成内 翔政

大森 奈美、西條 朝貴、高橋 怜、森瀬 昌裕、

伊東 秀崇、小宮山知夏、播磨 綾子、桑原 政成、

山口 徹雄、太田 光彦、西山 信大、藤本 陽、

児玉 隆秀

第Ⅱ会場

会長企画セッションⅠ

9:00-10:30

座長 (上尾中央総合病院心臓血管センター) 一色 高明
座長 (三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾
コメンテーター (臨床研究適正評価教育機構) 桑島 巖
コメンテーター (自治医科大学臨床薬理学部門・循環器内科学部門) 今井 靖
コメンテーター (厚生労働省医薬局監視指導・麻薬対策課) 佐藤 大作

講演会での企業による事前スライドチェックの現状と課題

専門医の立場から

(三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾

製薬協の立場から

(日本製薬工業協会常務理事) 石田 佳之

販売情報提供活動ガイドラインの概要と課題

(帝京平成大学薬学部薬学科薬事・情報学ユニット) 渡邊 伸一

教育セッションⅡ

10:40-12:10

座長 (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 刈尾 七臣
座長 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙
コメンテーター (所沢ハートセンター循環器科) 谷脇 正哲
コメンテーター (板橋中央総合病院循環器内科) 大塚 龍彦

新しい診断技術・治療法を学ぶ

Renal Denervationの現状と今後の展開

(三井記念病院循環器内科) 青木 二郎

フォトンカウンティングCTの現状と今後の展開

(東海大学医学部専門診療学系画像診断学) 橋本 順

第XI因子阻害剤の現状と今後の展開

(東海大学医学部内科学系循環器内科) 後藤 信哉

ランチオンセミナー２

12:20-13:10

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社

座長 (東京医科大学病院循環器内科) 里見 和浩

「EFからみた今どきの心不全診療」

(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

教育セッションⅢ

13:20-14:50

座長 (武蔵野赤十字病院循環器科) 足利 貴志
座長 (三井記念病院循環器内科) 田中 旬
コメンテーター (東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 加藤奈穂子
コメンテーター (聖マリアンナ医科大学東横病院循環器内科) 亀島はる香

運動負荷心エコーを学ぶ

HFpEFの運動負荷のいろは

(群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小保方 優

弁膜症における運動負荷心エコーの役割

(虎の門病院循環器センター内科) 太田 光彦

虚血における負荷エコーの有用性
(東京心臓血管・内科クリニック) 柴山謙太郎

デザートセミナー2 15:00-15:50 共催：アストラゼネカ株式会社/小野薬品工業株式会社
座長 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 廣井 透雄
「SGLT2阻害薬の実力ー費用対効果から考える心臓と腎臓へのパフォーマンスー」
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 小寺 聡

Clinical Research Award 16:00-16:50
座長 (千葉大学循環器内科学) 小林 欣夫
座長 (東邦大学医学部大橋病院循環器疾患低侵襲治療学講座) 中村 正人
審査委員長 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉
審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
審査委員 (東京女子医科大学循環器内科) 山口 淳一
審査委員 (東京大学大学院医学系研究科重症心不全治療開発講座) 網谷 英介

II-1 緊急経皮的冠動脈形成術を施行されたST上昇型心筋梗塞患者における機械的合併症発症の臨床予測モデル
(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 村上 司
坂倉 建一、陣内 博行、谷口 陽介、津久井卓伯、
羽鳥 将史、玉那覇雄介、笠原 卓、渡邊 裕介、
山本 慶、瀬口 優、和田 浩、藤田 英雄

II-2 心不全患者におけるObesity paradoxと交絡する因子の検討
(三井記念病院循環器内科) 権田 勇樹
堀内 優、大島 旭、芦浦 大輝、阿佐美匡彦、
矢作 和之、湯澤ひとみ、小宮山浩大、田中 旬、
青木 二郎、田邊 健吾
(九州大学循環器内科) 井手 友美、筒井 裕之

II-3 コレステロール結晶による大動脈不安定プラークの検討: 血流維持型血管内視鏡と病理学的研究
(日本大学医学部附属板橋病院循環器内科) 田中 雄大
小嶋 啓介、母坪 友太、高橋くらら、中島 祐樹、
宮川 真継、溝渕 公規、右田 昌平、福本 勝文、
新井 陸、盛川 智之、峯木 隆志、村田 伸弘、
須藤 晃正、北野 大輔、奥村 恭男

II-4 早期HFpEF患者の栄養状態の違いが予後に与える影響の検討
(群馬大学大学院保健学研究科/沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション課) 谷 友太
(沼田脳神経外科循環器科病院リハビリテーション課) 原田 智成、反町 秀美、湯浅 直紀、村上 文崇、
加藤 寿光、石井 秀樹、小保方 優

II-5 再発脳梗塞合併心房細動症例でWolf-Ohtsuka手技での左心耳切除標本での内膜線維化のスペクトルCT関連因子
(千葉西総合病院心臓血管外科) 中山 泰介
中村 喜次、鶴田 亮、新妻 楠望
(千葉西総合病院放射線部) 宿谷 篤
(千葉西総合病院循環器内科) 三角 和雄
(千葉西総合病院病理部) 鈴木 正章、柳原 希美
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

座長 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙
 座長 (信州大学医学部循環器内科) 桑原宏一郎
 審査委員長 (日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野) 清水 渉
 審査委員 (昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎
 審査委員 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学) 南野 徹
 審査委員 (東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 中西 理子

II-6 心疾患患者の妊娠・出産に関してハイリスク症例から学ぶこと

(帝京大学医学部医学科) 森 裕香
 (帝京大学医学部医学教育学講座) 紺野久美子
 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 斎藤 仁文、中村 環、井関 洋成、片山 大河、
 山本 裕貞、渡 雄至、横山 直之、上妻 謙

II-7 スペクトラルCTを用いた冠動脈周囲脂肪のCT, 実効原子番号, 電子密度の局所計測と冠動脈硬化との関連の検討

(国際医療福祉大学医学部医学科) 星 昂太郎
 (千葉西総合病院放射線部) 宿谷 篤
 (千葉西総合病院循環器内科) 赤座 愼、三角 和雄
 (国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

II-8 血管内超音波と病理組織像の対比により薬剤溶出性ステント留置後の被覆を評価し得た急性心筋梗塞の一例

(東海大学医学部医学科) 関野 紗月
 相原 一樹、佐藤 優、塩崎 学、中村 則人、
 鳥居 翔、伊苺 裕二
 (近畿大学医学部循環器内科) 中澤 学

II-9 大動脈弁置換術後、約12年で生体弁の人工弁機能不全をきたした症例の病理学的検討

(東海大学医学部医学科) 小関 海斗
 (東海大学医学部循環器内科学) 鳥居 翔、佐藤 優、宮本 淳一、上岡 智彦、
 大野 洋平、伊苺 裕二
 (東海大学医学部心臓血管外科学) 岡田 公章

II-10 大動脈弁閉鎖不全症診断における胸部レントゲン画像と心電図を統合したバイモーダルAIの可能性

(順天堂大学医学部/東京大学医学部附属病院循環器内科) 早道 奏喜
 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 佐藤 将敬、小寺 聡、藤井 恵美、岸川 理紗、
 澤野晋之介、篠原 宏樹、東邦 康智、藤生 克仁、
 赤澤 宏、小室 一成

II-11 完全房室ブロックに合併したStanford B型急性大動脈解離の保存療法中に発症した急性肺血栓栓症の一例

(千葉大学医学部医学科) 加藤佳瑞弘
 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 加藤 賢、松本 萌、吉野 裕、高岡 浩之、
 小林 欣夫

II-12 大動脈弁閉鎖不全症を伴う急性A型大動脈解離にPartial remodeling、Suture Annuloplastyが有効だった1例

(東京慈恵会医科大学医学部医学科) 佐藤真乃介
 (東京慈恵会医科大学心臓外科) 高木 智充、儀武 路雄、松村 洋高、前田 恵、
 有村 聡士、石割 圭一、國原 孝

第Ⅲ会場

循環器病対策推進委員会企画セッション

9:00-10:30

座長 (東京大学大学院医学系研究科心臓外科) 小野 稔
座長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊苺 裕二

各都県による循環器病対策推進の取り組み：第2期に向けて

神奈川県の取り組み

(東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊苺 裕二

東京都の循環器病対策推進の取り組み：第2期に向けて

(日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学分野) 清水 渉

千葉県の取り組み

(千葉大学循環器内科学) 小林 欣夫

茨城県の取組み：心不全地域連携会議の発足と日本循環器学会専門医研修施設群の連携

(筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

各都県による循環器病対策推進の取り組み：第2期に向けて -群馬県の取り組み-

(群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹

新潟県の取り組み

(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

長野県における第2期に向けた循環器病対策推進への取り組み

(信州大学医学部循環器内科) 桑原宏一郎

山梨県における循環器病対策の取り組み

(山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学) 佐藤 明

埼玉県の試み

(防衛医科大学校循環器内科) 足立 健

栃木県の取り組み

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 苺尾 七臣

学術委員会企画セッション

10:40-12:10

座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 近藤 祐介

循環器専門医に知っていてほしい！心房細動アブレーション最新の話

だれにどのように治療するべき？～心房細動アブレーションの現状～

(自治医科大学附属病院循環器内科学講座) 渡部 智紀

ここまで進化した！～最新マッピングテクノロジー～

(クリーブランドクリニック循環器内科) 菅原 暢文

いよいよ本邦に導入！～パルスフィールド・アブレーションへ～

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 林 英守

ランチョンセミナー 3

12:20-13:10

共催：キヤノンメディカルシステムズ株式会社
座長（日本大学病院循環器内科） 松本 直也

CANONの循環器への取り組み ～遠隔と画像から～

「遠隔モニタリング算定業務の効率化に向けた取り組み」
（東京ハートリズムクリニック臨床工学科）

角野 健太

「CT・MRI画像を用いたSHD治療戦略～LAAC術前画像評価のポイント～」
（三井記念病院循環器内科）

阿佐美匡彦

一般演題 セッション 1 1 弁膜症
13:20-14:50

座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科）田邊 康宏
座長（上尾中央総合病院循環器内科）佐々木俊輔
コメンテーター（千葉大学医学部附属病院循環器内科）佐々木晴香
コメンテーター（聖マリアンナ医科大学循環器内科）奥野 泰史

Ⅲ-1 TAVI後感染性心内膜炎に対するTAVI弁摘出とステント付き生体弁での二弁置換の経験
（順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科）

森田三奈子
大石 淳実、大山 徹真、梶本 完

Ⅲ-2 急性下壁心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成術後に後乳頭筋断裂による僧帽弁閉鎖不全症を生じた1例
（長野中央病院循環器内科）

瀧田 郁洋
林 充那登、齊藤 和紀、板本智恵子、河野 恒輔、
山本 博昭
磯村 彰吾、大野 英昭
（長野中央病院心臓血管外科）

Ⅲ-3 超高齢の有症候性超重症大動脈弁狭窄症への迅速なTAVIにより、ADLを損なわず良好な経過を得た1例
（東京都健康長寿医療センター循環器内科）

宮内 祐弥
二見崇太郎、齋藤 義弘、碓井 伸一、藤本 肇、
石川 譲治、原田 和昌
村田 和洋、乾 明敏、河田 光弘
（東京都健康長寿医療センター心臓血管外科）

Ⅲ-4 膀胱癌術前精査で慢性血栓性肺高血圧症を合併した重症大動脈弁狭窄症の診断に至った1例
（聖路加国際病院内科）

川木 雄斗
蟹江 崇芳、高岡 慶光、浅野 拓、木島 康文
阿部 恒平
（聖路加国際病院循環器内科）
（聖路加国際病院心臓血管外科）

Ⅲ-5 僧帽弁形成術後遠隔期に僧帽弁輪解離に起因する致死的不整脈をきたした1例

（榊原記念病院心臓血管外科）
石堂 耕平
陳 軒、迎 洋輔、在國寺健太、岩倉 具宏

Ⅲ-6 TF-TAVI後に非閉塞性腸管虚血およびコレステロール塞栓症を発症し集学的治療により救命できた1例
（筑波大学附属病院）

宮内 順也
（筑波大学附属病院循環器内科）
（筑波大学医学医療系循環器内科）
矢口 拓実、宇佐美恭平、寺内 泰観、石井雄一郎
平谷 太吾、渡部 浩明、星 智也、石津 智子

Ⅲ-7 The exercise stress echocardiography in Transcatheter Mitral Valve Edge-to-edge Repair
（聖マリアンナ医科大学病院循環器内科）

村田理沙子
栗田 真吾、出雲 昌樹、佐藤 如雄、奥野 泰史、
古賀 将史、奥山 和明、田邊 康宏、原田 智雄、
石橋 祐記、明石 嘉浩
（聖マリアンナ医科大学病院超音波センター）
塩川 則子

- Ⅲ-8 貧血治療に苦慮した重症大動脈弁狭窄症の一例
 (伊勢崎市民病院) 磯部いの八
 渡邊 真、樋口 京介、菊池聡一郎、戸田 和辰、
 椎名 貴行
- Ⅲ-9 TAVI後7年で生じた生体弁機能不全をTAV in TAVで治療した1症例
 (榊原記念病院循環器内科) 坂本 和哉
 樋口 亮介、西田 耕太、西川 慶、蟹沢 充、
 萩谷 健一、北村 光信、高見澤 格、七里 守
- デザートセミナー3 15:00-15:50 共催：日本メドトロニック株式会社
 座長 (昭和大学江東豊洲病院) 若林 公平
- 透析TAVI 最新update
- 透析と大動脈弁狭窄症 (川崎幸病院) 大西 隆行
- 症例から考える透析TAVI (千葉大学医学部附属病院) 北原 秀喜
- デザートセミナー6 16:00-16:50 共催：エドワーズライフサイエンス株式会社
 座長 (三井記念病院循環器内科) 阿佐美匡彦
- TAVIをやらない人にも是非聞いて欲しい～拡がるAS治療の選択肢～
 「Nicheな疾患弁膜症!? ～無自覚に進行する重症ASを放置してはいけない理由～」
 (水戸済生会総合病院循環器内科) 川原 有貴
- 「こんなに違う!? 日本と北米のTAVI事情 ～カナダ留学の経験から～」
 (虎の門病院循環器センター内科) 山口 徹雄

第Ⅳ会場

一般演題 セッション1 先天性/高血圧・低血圧/その他/全般的問題

9:00-10:20

座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 原 英彦

座長 (聖路加国際病院循環器内科) 椎名 由美

コメンテーター (自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 成田 圭佑

コメンテーター (虎の門病院循環器センター内科) 小宮山知夏

IV-1 腎機能障害合併成人動脈管開存症に対し非造影イメージングガイドで経カテーテル動脈管閉鎖術を施行した1例

(昭和大学病院循環器内科)

甲斐 陽介

正司 真、新家 俊郎、樋口 聡、高井 優希

IV-2 高齢者の未治療心房中隔欠損症 (Atrial Septal Defect : ASD) に続発した肺動脈性肺高血圧症の一例

(新久喜総合病院研修医)

大友 一輝

(新久喜総合病院循環器内科)

橋本 治、家村 優、前淵 大輔、上西 将之、

戸頃 康男

IV-3 三尖弁閉鎖症経過観察中にクレーゼ様の急性発症を来したアミオダロン誘発性甲状腺中毒症2型の1例

(佐久医療センター循環器内科)

下村 果穂

近澤 優太、神津 亮輔、丸山 周作、土屋ひろみ、

長谷川智也、柳澤 聖、南野 安正、橋 賢廣、

木村 光、矢崎 善一

(信州大学循環器内科)

元木 博彦

IV-4 HIF-PH阻害薬が原因として疑われた肺血栓塞栓症の1例

(埼玉病院循環器内科)

笹島 康平

岩出祐一郎、古田島太希、磯田 徹、井合 渉、

栗原 和人、丹羽 直哉、佐藤 篤志、田中 宏明、

鶴見 昌史、小野 智彦、松村 圭祐

IV-5 高度貧血心不全の輸血後に遅発性輸血関連急性肺障害が疑われた1例

(新潟県立燕労災病院)

渡辺 智

(厚生連豊栄病院)

佐藤 貴雄

IV-6 無症候性心筋虚血 (左主幹部を含む3枝病変) を契機に診断された家族性高コレステロール血症

(西埼玉中央病院循環器内科)

古賀 堇

吉野 拓哉、小山 達也、橋本 浩一

(東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科)

吉村 道博

IV-7 ハイリスク形態の卵円孔開存を有し経皮的左心耳閉鎖術後1年でplatypnea-orthodeoxia 症候群となった一例

(昭和大学医学部循環器内科)

織田 彩花

福岡 裕人、横川 大介、宮崎はるか、市川 沙綾、

蜂矢 るみ、田中 秀彰、小崎 遼太、望月 泰秀、

松本 英成、新家 俊郎

IV-8 糖尿病患者と非糖尿病患者における心血管危険因子の比較

(慶應義塾大学病院循環器内科/東京大学大学院医学系研究科循環器内科)	小室 薫子
	小室 仁
(東京大学医学部附属病院循環器内科)	金子 英弘、藤生 克仁、武田 憲文、森田 啓行
(東京大学大学院医学系研究科循環器内科/国立保健医療科学院保健医療経済評価研究センター)	鈴木 裕太
(東京大学大学院医学系研究科循環器内科/北里大学大学院医療系研究科)	上野 兼輔
(東京大学大学院医学系研究科循環器内科/国際医療福祉大学)	小室 一成
(慶應義塾大学病院循環器内科)	家田 真樹
(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻臨床疫学・経済学)	康永 秀生

成人先天性心疾患セッション (日本循環器学会学術委員会教育セッション)

10:40-12:10 座長 (慶應義塾大学医学部予防医療センター) 山岸 敬幸
座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

「ACHDのファーストタッチから専門診療まで」

成人における動脈管開存症PDAの診断・画像・治療

(慶應義塾大学病院循環器内科) 小平 真幸

ファロー四徴症術後遠隔期の問題点 ドロップアウト症例から学ぶ

(東京女子医科大学循環器内科) 小暮 智仁

心室中隔欠損症に合併するValsalva洞瘤とその破裂

(筑波大学附属病院循環器内科) 川松 直人

心室中隔欠損症に合併する肺動脈性肺高血圧の治療方針

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 相馬 桂

ランチョンセミナー4

12:20-13:10

共催：ノバルティスファーマ株式会社

座長 (三井記念病院循環器内科) 小宮山浩大

Long Acting PCSK9産生阻害薬レクビオの有用性に迫る

(東海大学医学部内科学系循環器内科学) 伊莉 裕二

一般演題 セッション12 心臓血管外科セレクション

13:20-14:50

座長 (獨協医科大学心臓・血管外科) 福田 宏嗣

座長 (日本大学医学部心臓血管外科) 田中 正史

コメンテーター (湘南鎌倉総合病院心臓血管外科) 野口権一郎

コメンテーター (聖隷横浜病院心臓血管センター外科) 乗松 東吾

IV-9 僧帽弁形成術後の僧帽弁逆流再発に対してNeoChordを用いたオフポンプ僧帽弁形成術を施行した2例

(順天堂大学医学部附属順天堂医院心臓血管外科) 遠藤 大介

田端 実

(東京ベイ・浦安市川医療センター心臓血管外科) 伊藤 丈二

(順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 金子 智洋、鍵山 暢之、宮崎彩記子

(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 渡辺 弘之

IV-10 慢性大動脈解離stanfordAに対する上行大動脈人工血管置換術後に僧帽弁閉鎖不全症の増悪を来した一例

(横浜市立みなと赤十字病院心臓血管外科) 鳥飼 哲世

佐藤 哲也、三好 康介、河原 拓也、伊藤 智

(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 有馬 秀紀

- IV-11 感染性心内膜炎に対する僧帽弁形成術後に溶血性貧血をきたし再手術を行った一例
 (北里大学医学部循環器内科) 矢島 大治
 小林 周平、虎岩めぐみ、加古川美保、前川 恵美、
 深谷 英平、阿古 潤哉
 (北里大学医学部心臓血管外科) 北村 律
- IV-12 特発性収縮性心膜炎に対して心膜切除術が奏功した一例
 (東海大学医学部循環器内科) 大野 貴央
 中村 則人、伊地知 健、大野 洋平、永井 知雄、
 伊刈 裕二
 (東海大学医学部心臓血管外科) 岡田 公章、長 泰則
- IV-13 左室後壁に接した心外膜血腫 (pericardial hematoma) の増大をみた1症例
 (千葉西総合病院循環器内科) 高木いさん
 田口 重文、葉山 泰史、飯塚 大介、倉持 雄彦、
 三角 和雄
 (千葉西総合病院心臓血管外科) 中村 喜次、中山 泰介
- IV-14 術前画像でエントリーの同定が困難であった急性大動脈解離の一例
 (東京Dタワーホスピタル心臓血管外科) 和田久美子
 木内 竜太、手取屋岳夫
- IV-15 ACS病変に対してPCIを施行し、症状の安定化を確認後残存病変に対して待機的CABGを選択した1例
 (東京歯科大学市川総合病院循環器内科) 佐多真之介
 大木 貴博、眞野 恵範、宮本 和享、助川 博章、
 守山 英則、山崎 雄友
 (東京歯科大学市川総合病院心臓血管外科) 井上 仁人、村上 貴志、村田 哲
- IV-16 原発性肺動脈内膜肉腫による肺高血圧症に対して経皮的肺動脈形成術を行った一例
 (山梨大学医学部循環器内科) 武井 俊樹
 小林 剛、吉崎 徹、山口 千之、堀越 健生、
 渡邊 陽介、山田 亮太、川村 碩人、佐藤 明
 (山梨大学医学部心臓血管外科) 加賀重亜喜、中島 博之
- IV-17 冠攣縮による心肺停止時の胸骨圧迫に起因する右房破裂に対し経皮的心肺補助循環と開胸術で救命し得た一例
 (埼玉医科大学総合医療センター臨床研修センター/心臓内科) 奥羽 慧
 永井 里奈
 (埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 阿部 拓朗、奥田 希子、長堀 寛司、小形 円香、
 河原 勇貴、安藤 敏行、石原 嗣郎、小宮山英徳、
 井上 芳郎、重城健太郎
 (埼玉医科大学総合医療センター心臓血管外科) 岡田 至弘、高澤 晃利、徳永 千穂

デザートセミナー4

15:00-15:50

共催：日本アビオメッド株式会社

座長 (北里大学医学部循環器内科学) 阿古 潤哉

『心原性ショックを地域で治す！～IMPELLAがつなぐハートリカバリーネットワーク～』

「IMPELLA非導入施設における心原性ショックに対する治療戦略」

(博慈会記念総合病院循環器内科) 三軒 豪仁

「IMPELLA導入施設として取り組むRegional Networkの現状と展望」

(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 佐藤 如雄

デザートセミナー7

16:00-16:50

共催：バイエル薬品株式会社
座長（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科）池田 礼史

高齢化社会における循環器診療を考える

高齢化社会におけるMRAの重要性とケレンディアの使用経験
（横浜市立大学附属病院循環器内科） 岩橋 徳明

高齢化社会における抗凝固療法を含む心房細動のトータルマネジメント
（東海大学医学部内科学系循環器内科） 柳下 敦彦

第V会場

一般演題 セッション2 心筋炎・心筋症1

9:00-10:00

座長 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 石田 純一
座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座) 末永 祐哉
コメンテーター (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 加藤 賢
コメンテーター (河北総合病院循環器内科) 片野 皓介

V-1 ニボルマブ長期投与中に発症しステロイドパルス療法が奏功した急性心筋炎の一例

(東京医科歯科大学循環器内科)

中田 光宥
米津 太志、岸上 哲也、菅野 義典、後藤健太郎、
荒木 誠、笹野 哲郎

V-2 偶発的に発見された軽症心不全から突然死に至った巨細胞性心筋炎の一例

(防衛医科大学校病院循環器内科)

長野 綾佳
長友 祐司、松尾 勇気、安田理紗子、池上 幸憲、
東谷 卓美、難波 貴之、眞崎 暢之、足立 健

V-3 タファミジス導入後、2年半が経過したトランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例

(帝京大学医学部附属溝口病院循環器内科)

高橋 慎司
鈴木 伸明、木村 隆大、池田 佳之、青柳 貴、
白鳥 宜孝

(帝京大学医学部附属溝口病院循環器内科/帝京大学医学部附属病院循環器内科)

(帝京大学医学部附属病院循環器内科)

横井 樹
横山 直之、上妻 謙

V-4 運動負荷心エコー検査により診断した閉塞性肥大型心筋症の一例

(横浜労災病院循環器内科)

久松菜未子
長田 淳、畑崎 裕志、川口 琴子、吉田 祐紀、
真鍋 雄二、石垣 彩、田邊 好秀、松田 迪、
本道 春花、浅野 駿逸、福澤 朋幸、田中 真吾、
小和瀬晋弥、青木 元、柚本 和彦

(聖マリアンナ医科大学循環器内科)

出雲 昌樹

V-5 閉塞性肥大型心筋症として治療され、病理解剖で全身性アミロイドーシスと診断された一例

(帝京大学ちば総合医療センター内科)

野口 智裕
吹野 恵子、清水慶二郎、武田 悦寛、天木 幹博、
中村 文隆

(帝京大学ちば総合医療センター病理部)

山崎 一人、藤野 節

V-6 着用型自動除細動器 (WCD) 使用下での至適薬物療法により植込み型除細動器 (ICD) を回避できた一例

(新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学)

熊木 隆之
薄田 英樹、秋山 琢洋、鈴木 尚真、大久保健志、
大槻 総、藤木 伸也、高山 亜美、八木原伸江、
柏村 健、猪又 孝元

(新潟県立燕労災病院循環器内科)

渡辺 智、中村 彰、宮北 靖

一般演題 セッション5 心筋炎・心筋症2

10:10-11:10

座長 (信州大学医学部保健学科) 伊澤 淳
座長 (東京新宿メディカルセンター循環器内科) 斉藤 哲也
コメンテーター (北里大学医学部循環器内科) 郡山 恵子
コメンテーター (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 山本 裕貞

V-7 特発性好酸球増多及び全身塞栓症を契機にレフレル心内膜炎と診断し、ステロイド加療を行なった一例
(東京医科大学病院循環器内科) 森 かおり
手塚 絢子、富士田康宏、寺澤 無量、里見 和浩

V-8 左室流出路閉塞を合併したたこつぼ型心筋症の一例
(川崎幸病院) 板倉 大輔
大西 隆行、原田 修平、門間 周、谷崎 友香、
和田 真弥、佐々木法常、保科 瑞穂、安藤 智、
高橋 英雄、齋藤 直樹、福富 基城、羽鳥 慶、
福永 博、三浦 史晴、桃原 哲也

V-9 抗ミトコンドリアM2抗体陽性筋炎関連心筋症が疑われた一例
(東海大学医学部付属病院内科学系循環器内科) 吉川万里江
永井 知雄、伊地知 健、大野 洋平、吉岡公一郎、
伊莉 裕二
(小田原市立病院循環器内科) 岩城 大輔、弓削 大、川口 竹男
(国立循環器病研究センター病理部) 雨宮 妃、池田 善彦、畠山 金太

V-10 低Ca血症性心筋症による急性心不全の一例
(高崎総合医療センター心臓血管内科) 千吉良彩花
広井 知歳、福田 延昭、太田 昌樹、村田 智行、
小林 紘生、石橋 洋平、高橋 伸弥、羽鳥 直樹、
柴田 悟、高橋 洋右、瀬田 博貴

V-11 メサラジンによる薬剤性心筋炎をきたした一例
(河北総合病院循環器内科) 三上 朝賀
長田 公祐、片野 皓介、浅野 嘉隆、宮部 彰、
サッキヤ サンディーブ、石原 龍馬、井藤 葉子、
佐藤由里子、水村 泰祐、玉村 年健、杉村 洋一

V-12 タファミジスによりapical sparing patternが消失した野生型トランスサイレチン型心アミロイドーシスの一例
(自治医科大学内科学講座循環器内科部門) 比企穂乃佳
石山 裕介、澤城 大悟、青山 泰、小形 幸代、
原田 顕治、苅尾 七臣

一般演題 セッション8 心筋炎・心筋症3

11:20-12:10

座長 (帝京大学ちば総合医療センター第三内科) 中村 文隆
座長 (河北総合病院循環器内科) 水村 泰祐
コメンテーター (長野市民病院循環器内科) 板垣 惟
コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科) 戴 哲皓

V-13 心不全初回入院で診断に至った心アミロイドーシスの一例
(草加市立病院循環器内科) 吉川 雄飛
東山 陽子、工藤 侃、田代 燦、戸舎 稚詞、
須藤 悠太、古浦 賢二、岡田 寛之、稲垣 裕
(東京医科歯科大学循環器内科) 笹野 哲郎

V-14 高度低左心機能による急性心不全を発症したパラガングリオーマの一例
(筑波メディカルセンター病院循環器内科) 米田 理沙
大澤 匠、桑山 明宗、相原 英明、文藏 優子、
野口 祐一、仁科 秀崇

V-15 新規ペースメーカー植込み後にたこつぼ心筋症を発症した一例
(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 宮田 貴之
間瀬 浩、杉山 拓士、小貫 龍也、土至田 勉、
鈴木 洋

V-16 短期間に再発し、異なる壁運動異常を呈したたこつぼ症候群の一例
(横浜市立大学付属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 呉 俊樹
桐ヶ谷英邦、桐ヶ谷 仁、松下 絢介、小菅 雅美、
菅野 晃靖、日比 潔

V-17 過剰免疫反応を主体としたメカニズムの関与が考慮されたCOVID-19関連劇症型心筋炎の一例
(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 木下 真緒
齋藤 俊祐、大場 祐輔、澤城 大悟、船山 大、
原田 顕治、苅尾 七臣

ランチョンセミナー5 12:20-13:10 共催：ファイザー株式会社
座長 (虎の門病院循環器センター内科) 児玉 隆秀
心アミロイドシスの的確な診断の重要性と最新の治療
(大阪公立大学大学院医学研究科循環器内科学) 泉家 康宏

第18回ダイバーシティ・フォーラム／循環器専門医試験対策セミナー 番外編
13:20-14:50 座長 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
座長 (榊原記念病院循環器内科) 中山 敦子

「私達はこうしてJ-Osler時代の専門医試験を乗り切った」

— 本会からのメッセージ動画 (上映) —

指導医にこれだけは知って欲しい！内科J-OSLER
(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 出雲 昌樹

新専門医制度最大の難関！内科・循環器J-OSLERをどう攻略する？
(東京大学医学部附属病院/榊原記念病院循環器内科) 阿部 遼

専攻医にこれだけは知って欲しい！内科J-OSLER
(日本医科大学付属病院循環器内科) 渡邊 将央

デザートセミナー5 15:00-15:50 共催：日本ライフライン株式会社
座長 (国際医療福祉大学三田病院循環器内科・不整脈センター) 合屋 雅彦
「待ったなし！デバイス植込みの現状～虚血医ができること～」

「虚血性心疾患患者の突然死予防にできることは～虚血医からの視点で考える～」
(三井記念病院循環器内科) 矢作 和之

「適切なCRTの介入時期～最新の心不全治療薬によって変わったか？～」
(北里大学病院循環器内科) 池田 祐毅

一般演題 セッション17 心膜・腫瘍/腫瘍循環器

16:00-17:00

座長 (がん・感染症センター都立駒込病院循環器内科) 北原 康行

座長 (国立がん研究センター東病院循環器科) 田尻 和子

コメンテーター (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小保方 優

コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科) 門脇 裕

V-18 多量心嚢液貯留による心不全を呈し外科的開窓術による改善が得られたIgG4関連心膜炎の一例

(聖隷横浜病院病理診断科) 長谷川和喜

末松 直美

(聖隷横浜病院心臓血管センター内科) 河合 慧、仙波 貴之、山田 亘、中島 啓介、

新村 剛透、芦田 和博

(聖隷横浜病院心臓血管センター外科) 乗松 東吾

V-19 完全房室ブロックを契機に診断した心臓悪性リンパ腫の一例

(相澤病院循環器内科) 永原 直輝

井上未奈美、西川 賢、千田 啓介、竹内 崇博、

相澤 克之、鈴木 智裕、安河内 聡

V-20 慢性肺炎に伴い心嚢液貯留をきたした一例

(戸田中央総合病院心臓血管センター内科)

吉田龍太郎

竹内 文寿、堀中 遼、池部 裕寧、土方 伸浩、

元田 博之、湯原 幹夫、小堀 裕一、武田 和大

V-21 経皮的心内膜下心筋生検により診断し得た、心臓原発悪性リンパ腫の1例

(自治医科大学附属さいたま医療センター) 大木 初里

牧 尚孝、津久井卓伯、伊部 達郎、谷口 陽介、

陣内 博行、和田 浩、坂倉 健一、藤田 英雄

V-22 当院における腫瘍循環器チームの取り組みの現状と課題

(国立国際医療研究センター病院循環器内科) 久保田修司

長井 蘭、山本 正也、原 久男、廣井 透雄

V-23 腎癌に対して抗癌剤治療中に心筋内転移による心不全・心原性ショックを発症した一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 森下 圭

石田 純一、黒木菜見人、上田 和孝、武田 憲文

一般演題 セッション18 デバイス

17:10-18:00

座長 (山梨大学大学院総合研究部医学域内科学講座循環器内科学教室) 黒木 健志

座長 (苑田第一病院循環器内科) 大槻 修司

コメンテーター (東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科) 木下 利雄

コメンテーター (杏林大学医学部附属病院循環器内科) 毛利 崇人

V-24 右鎖骨下静脈の高度屈曲が原因で繰り返しスクリーリードの変形を認めた1例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 大橋 潤平

林 達哉、山本 真吾、宇賀田裕介

(埼玉メディカルセンター循環器内科) 平原 大志、鶴巻 良允、久保 典史

V-25 頻脈性不整脈契機の心不全増悪に対し房室結節ablationと心室中隔ペースメーカー植え込み術を施行した一例

(平塚共済病院循環器内科) 新井 亮太

村本 容崇、柏 良之輔、宮崎 紘子、羽生 佳弘、

飯谷 宗弘、荒木 恵子、秋吉 基、岩井 慎介、

小林 一土、大西 裕子

(東京医科歯科大学循環制御内科学) 笹野 哲郎

V-26 恒久的ペースメーカー植え込み後に生じた心室リードの右室穿孔に対して経静脈的にリード抜去を行った一例

(川崎幸病院循環器内科)

齋藤理香子
三浦 史晴、大西 隆行、高橋 英雄、福永 博、
三好 由、原田 修平、板倉 大輔、門間 周、
谷崎 友香、和田 真弥、安藤 智、齋藤 直樹、
福富 基城、羽鳥 慶、保科 瑞穂、桃原 哲也

V-27 105歳と超高齢者の完全房室ブロックに対しリードレスペースメーカーを留置し退院可能であった1例

(藤沢湘南台病院循環器内科)

大野 哲
金 侑濤、山田 優、中村 悠城、大野 睦記、
福島 裕介

V-28 徐脈性心房細動に対してAveir植え込み後、心室性期外収縮が頻発したため抜去後にMicraを留置した一症例

(獨協医科大学病院)

前野 栄孝
北川 善之、飯田圭太生、井上 弘貴、齋藤 郁太、
増山 大樹、南 健太郎、豊田 茂

第VI会場

一般演題 セッション3 心内膜炎

9:00-10:00

座長 (国際医療福祉大学三田病院循環器内科) 大門 雅夫

座長 (東京新宿メディカルセンター循環器内科) 谷地 織

コメンテーター (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科) 金子 智洋

コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科) 瀬戸口尚登

VI-1 超音波気管支鏡ガイド下針生検後に細菌性心膜炎を発症した1例

(関東中央病院循環器内科) 石原 達彦

岡崎 大海、西山 慧子、末綱 哲士、松原 巧、

明城 正博、杉下 靖之、田部井史子、伊藤 敦彦

(関東中央病院呼吸器内科) 岸野万里子、天野 陽介

VI-2 人工弁感染性心内膜炎に対し、18F-FDG PET/CTが診断に有用であった一例

(東邦大学医学部医学科内科学講座循環器内科学分野 (佐倉)) 野中 翔矢

池田 拓史、池田 裕樹、戸谷 俊介、杉崎 雄太、

伊藤 拓朗、岩川 幹弘、佐藤 修司、美甘 周史、

中神 隆洋、高橋 真央、清水 一寛

(東邦大学医学部医学科内科学講座循環器内科学分野 (大森)) 木下 利雄

VI-3 四弁に弁尖肥厚、異常エコーが認められ、非細菌性血栓性心内膜炎が疑われたリンパ形質細胞性リンパ腫の1例

(杏林大学医学部付属病院循環器内科) 奥田 奈央

南島 俊徳、西 智子、井坂 葵、竹内 真介、

菊池 華子、河野 隆志、副島 京子

(杏林大学医学部付属病院血液内科) 佐藤 範英

VI-4 上腸間膜動脈に急速に拡大する動脈瘤を認めた感染性心内膜炎の1例

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 柴田美佑妃

鮫島 雄祐、横森 広樹、齊藤 翔太、北野 奨真、

矢口 知征、武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

VI-5 治療に難渋した黄色ブドウ球菌による感染性心内膜炎の一例

(前橋赤十字病院心臓血管内科) 岡田 英樹

渡邊 宏哉、石尾洵一郎、児玉 智華、滝沢 大樹、

富澤 美夏、布施 智博、佐々木孝志、峯岸美智子、

庭前 野菊、丹下 正一

(前橋赤十字病院検査部検査科) 黒沢 幸嗣

VI-6 心臓CTが確定診断に有用であった経皮的動脈弁置換術後感染性心内膜炎の一例

(聖マリアンナ医科大学臨床研修センター) 有山 虎男

(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 古賀 将史、関口 将大、甲斐 貴彦、奥野 泰史、

佐藤 如雄、桑田 真吾、出雲 昌樹、石橋 祐記、

田邊 康宏、明石 嘉浩

一般演題 セッション6 肺高血圧

10:05-10:55

座長 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 合田あゆみ

座長 (国際医療福祉大学医学部循環器内科学) 田村 雄一

コメンテーター (東京大学医学部附属病院循環器内科/コンピュータ画像診断学・予防医学講座) 新保 麻衣

コメンテーター (聖路加国際病院循環器内科) 齊藤 輝

VI-7 急激な転帰を辿った肺腫瘍血栓性微少血管症が疑われる肺高血圧の一例

(新久喜総合病院)

家村 優
橋本 治、上西 将之、前淵 大輔、戸頃 康男

VI-8 NO吸入が有効であった乾癆性関節炎関連肺動脈性肺高血圧症の一例

(横浜市立大学附属病院循環器内科)

野尻 侑希
小西 正紹、鈴木 徹、小村 直弘、川浦 範之、
岩橋 徳明、菅野 晃靖、日比 潔

VI-9 経口薬初期3剤併用療法にリオシグアトへのswitchを追加し改善した重症IPAHの1例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科)

渡辺 雄也
牧 尚孝、伊部 達郎、林 達哉、藤田 英雄
(埼玉メディカルセンター) 和田 浩

VI-10 エボプロステノールが奏効した肺動脈性肺高血圧症の1例

(東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野)

飯田 健太
菊島 朋生、佐野 英隆、岡 洋佑、小島 至正、
岡 崇、小原 浩、池田 隆徳

VI-11 妊娠を契機に増悪した全身性エリテマトーデス (SLE) により肺高血圧症 (PH) を発症した若年女性の一例

(昭和大学医学部循環器内科)

上野 倫平
塚本 茂人、布施 汐理、新井 帝東、谷澤 宏樹、
樋口 聡、正司 真、新家 俊郎

一般演題 セッション9 心不全

11:00-12:10

座長 (上尾中央総合病院循環器内科) 谷本 周三

座長 (日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 中田 淳

コメンテーター (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 藤木 伸也

コメンテーター (埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 阿部 拓朗

VI-12 急性心筋梗塞による重症急性心不全に対してECMOとPCIに加えてImpellaを導入し良好な転帰を得た一例

(日本大学病院循環器内科)

瀬戸口俊貴
八木 司、足田 匡史、黒沼圭一郎、深町 大介、
横山 勝章、松本 直也

(日本大学病院救急科)

(日本大学医学部内科学系循環器内科分野)

千葉 宣孝
奥村 恭男

VI-13 大動脈弁狭窄症に合併した左室流出路—右房瘻による高拍出性心不全の一例

(新潟市民病院循環器内科)

瀬尾 友太
土田 圭一、内田 純也、小柳 宣人、渡辺 光洋、
柏 麻美、田中 孔明、保坂 幸男、尾崎 和幸、
高橋 和義

VI-14 閉塞性動脈硬化症を伴った心原性ショックに、大腿動脈と鎖骨下動脈からの送血によるVAA-ECMOで救命した1例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科)

前田甲雄太
橋本 涼太、南 健太郎、戸倉 通彰、西野 節、
金谷 智明、佐久間理吏、阿部 七郎、豊田 茂

- VI-15 ベルイシグアトを含めた5つの心不全治療薬により良好な転帰をたどった慢性心不全の一例
(藤沢湘南台病院循環器内科) 金 侑濤
大野 哲、山田 優、中村 悠城、大野 陸記、
福島 裕介
- VI-16 イバブラジン導入後、心機能が正常化した左脚ブロックを伴う高度低左心機能の一例
(千葉県総合救急災害医療センター循環器科) 木村 高志
橋本 理、高橋 雅史、若林 慎一、山岡 智樹、
前川 潤平、前川 祐子、佐野 雅則、酒井 芳昭
- VI-17 コントロール不良な心不全において副腎不全の関与を認めたい一例
(千葉県済生会習志野病院循環器内科) 立林 卓
鈴木 雅博、小林 智、坂本 直哉、白石 博一、
横山 健一、藤内 祐一、豊吉 敏之、蒔田憲太郎、
尾崎 僚
- VI-18 副腎摘出により改善した原発性アルドステロン症を合併した重症心不全の一例
(東京女子医科大学病院循環器内科) 小野 真珠
曾根麻衣子、城谷 翔太、神林 敬悟、菊池 規子、
鈴木 敦、山口 淳一
(東京女子医科大学病院内分泌科) 山梨 裕希、吉田 有策

ランチオンセミナー6

12:20-13:10

共催：フクダ電子東京販売株式会社

座長 (かわぐち心臓呼吸器病院循環器内科/不整脈センター) 宮内 靖史

「進歩する心房細動アブレーション術中及び周術期管理」

「長時間心臓モニターを使用した心房細動アブレーションの周術期管理」

(牧田総合病院循環器内科兼不整脈・失神センター) 河村 光晴

「心房細動アブレーションにおける高周波needleと心腔内除細動カテーテルの進歩」

(江戸川病院循環器内科) 慶田 毅彦

一般演題 セッション13 不整脈1

13:20-14:30

座長 (三井記念病院循環器内科) 湯澤ひとみ

座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 西村 卓郎

コメンテーター (東京女子医科大学附属足立医療センター心臓血管診療部) 岩波 裕史

コメンテーター (日本医科大学付属病院循環器内科) 藤本 雄飛

VI-19 上大静脈周囲のリエントリー性心房頻拍に対してアブレーションを施行した一例

(藤沢湘南台病院循環器内科) 山田 優

大野 哲、金 侑濤、中村 悠城、大野 陸記、

福島 裕介

(済生会横浜市南部病院循環器内科) 清國 雅義

VI-20 wide QRS tachycardiaに対する初期対応に苦慮した一例

(北里大学医学部循環器内科) 三輪晋太郎

小林 周平、深谷 英平、石末 成哉、阿古 潤也、

庭野 慎一、中村 洋範、及川 淳、村山 友介、

斎藤 大樹、小木曾 翔

VI-21 正中開胸下にcryoICEにてアブレーションを施行した持続性心室頻拍症の1例

(湘南鎌倉総合病院) 水野 真吾

村上 正人、齋藤 滋

VI-22 心房細動に対するアブレーション治療中の全身麻酔の管理の方法の比較

(神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科)

結城 翔多
井口 公平、瀧澤 良哉、西郷 紗絵、中山 尚貴、
福井 和樹
(神奈川県立循環器呼吸器病センター麻酔科) 山本 匠

VI-23 Sleeveの長い上大静脈内で機能的局所伝導ブロックのために周期不定の心房頻拍を呈した発作性心房細動の1例

(みなと赤十字病院循環器内科)

松岡 勇樹
川地 祐輔、齋藤 一平、西尾 祥郎、安井 由美、
河本 梓帆、大方信一郎、小田 惇仁、新井 紘史、
村田 和也、佐川雄一郎、浅野 充寿、有馬 秀紀、
志村 史左、倉林 学、山内 康熙

VI-24 著明なI度房室ブロックに伴う僧帽弁閉鎖不全症による心不全に対して、ペースメーカー植込み術が奏功した1例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科)

齊藤 遥平
林 達哉、宇賀田裕介、大橋 潤平、山本 真吾、
牧 尚孝、坂倉 建一、藤田 英雄

VI-25 QT延長作用のある複数薬剤によりQT延長症候群を発症しトルサード・ド・ポアンツ心室頻拍に至った一例

(さいたま市立病院)

勝木 俊臣
藤澤 大志、中澤 直美、中嶋 一晶、神吉 秀明、
小山 卓史

一般演題 セッション15 不整脈2

14:40-15:50

座長 (セントマーガレット病院循環器内科) 井川 修

座長 (東海大学医学部内科学系循環器内科学) 吉岡公一郎

コメンテーター (日本大学病院循環器内科) 磯 一貴

コメンテーター (土浦協同病院循環器内科) 石沢 太基

VI-26 右肺動脈から左房天蓋部アブレーションの完成を確認した一例

(さいたま市立病院)

勝木 俊臣
藤澤 大志、中澤 直美、中嶋 一晶、神吉 秀明、
小山 卓史

VI-27 左心耳を起源とするFocal ATに対して左心耳内から通電し治療しえた1例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科)

増山 大樹
飯田圭太生、南 健太郎、北川 善之、齋藤 郁太、
井上 弘貴、前野 栄孝、豊田 茂

VI-28 陳旧性心筋梗塞を器質とする心室性不整脈に対して器質を検査し加療した一例

(日本赤十字社医療センター循環器内科)

越田 直也
曾根田佳久、山本 溪介、瀧澤 雅隆、魚住 博記、
池ノ内 浩

VI-29 複数の抗不整脈薬と深鎮静に抵抗性incessant型心室頻拍にPCPS下に緊急で前乳頭筋焼灼術を行い救命し得た1例

(亀田総合病院循環器内科)

田中 聖人
中村 瑠美、中田 亮、宮國 翔太、廣木 次郎、
大谷 拓史、大野 真紀、水上 暁、松村 昭彦

VI-30 COVID-19を契機に頻回のtorsade de pointesを来した先天性QT延長症候群の1例

(横浜労災病院臨床研修センター) 齊木 隆裕
(横浜労災病院循環器内科) 真鍋 雄二、畑崎 祐志、川口 琴子、吉田 裕紀、
石垣 彩、田邊 好秀、久松菜未子、松田 迪、
本道 春花、浅野 駿逸、福澤 朋幸、田中 真吾、
小和瀬晋弥、長田 淳、青木 元、柚本 和彦

VI-31 WATCHMANデバイス留置後の心臓内視鏡による内皮化の観察

(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 有上 周佑
橋本 剛、田口慎太郎、中村 飛鳥、井出 志穂、
鳥居 俊介、清水 貴之、葉山 裕真、豊田 康豪、
牧野 健治、中村啓二郎、原 英彦、諸井 雅男
(東邦大学医療センター大橋病院循環器疾患低侵襲治療学講座) 中村 正人

VI-32 院外心停止で搬送された潜在性QT延長症候群とカテコラミン誘発多形性心室頻拍の特徴をもつWPW症候群の1例

(東京女子医科大学循環器内科) 渡邊 真由
片岡 翔平、坂井 政之、長谷川 瞬、樋口 諭、
山口 淳一
(東京女子医科大学循環器内科/東京女子医科大学循環器内科先進電気的心臓制御研究部門) 柳下 大悟、庄田 守男

デザートセミナー 8

16:00-16:50

共催：JSR株式会社

座長 (東邦大学医療センター大橋病院) 原 英彦
座長 (三井記念病院) 矢作 和之

「心房細動を見抜く！循環器内科医、脳神経内科医のアクション」

「健康寿命延伸を達成するための当院の取り組み」

(仙台厚生病院循環器内科不整脈科) 山下賢之介

「潜在性心房細動の検出を強化して要介護を減らそう～当院における長期間心電計の活用法について～」

(一宮西病院脳神経内科) 山口 啓二

会長企画セッションⅢ

17:00-18:00

座長 (東京慈恵会医科大学心臓外科) 國原 孝
座長 (三井記念病院循環器内科) 田邊 健吾
コメンテーター (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹
コメンテーター (榊原記念病院循環器内科) 井口 信雄

笑いを診療にとりいれよう！

医療の現場に不可欠な「笑いとユーモア」

(榊原記念病院循環器内科) 住吉 徹哉

【落語演目】

(落語家) 春風亭柳太郎

※こちらのセッションは混雑が予想されますので、当日13:15より参加費受付横にて整理券を配布いたします。
(130枚を予定)

整理券はなくなり次第終了とさせていただきます。なお、満席の場合は会場後方に立ち見席を若干ご用意する
予定です。予めご了承ください。

第Ⅶ会場

一般演題 セッション4 虚血性心疾患1

9:00-10:00

座長 (横浜総合病院ハートセンター循環器内科) 山家 謙
座長 (国立国際医療研究センター病院循環器内科) 原 久男
コメンテーター (岩槻南病院循環器科) 宮澤 亮義
コメンテーター (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 齋藤 佑一

Ⅶ-1 アナグレリド開始後にspasmが関与したと考えられる心筋梗塞を発症し、遅発性の心室細動を合併した1例

(横須賀市立市民病院循環器内科) 武内 章悟
坂 賢一郎、児玉亜希子、野田 光里、松本 祐介、
鈴木 弘之、木村 一雄

Ⅶ-2 虚血性心疾患患者における可搬型心音聴取デバイスによる心音聴取の臨床的意義

(北里大学医学部循環器内科学) 藤吉 和博
阿古 潤哉
(北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科) 東條美奈子、藤吉佳那子
(北里大学大学院医療系研究科) 小松 拓巳
(NTT物性科学基礎研究所バイオメディカル情報科学研究センター) 中島 寛、柏野 邦夫、友池 仁暢

Ⅶ-3 ACT値の推移からヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) を考慮し対応後HIT抗体陽性を認めた労作性狭心症の一例

(昭和大学横浜市北部病院循環器内科) 小柳 唯
岡部 俊孝、伊藤 有輝、大倉 武、宜保 雄磨、
石垣 成紘、薄元宗一郎、成井 崇朗、藤岡 立樹、
飛鳥井 邑、木村 太朗、斎藤 惇平、嶋津 英、
大山 祐司、井川 渉、小野 盛夫、荏原誠太郎、
磯村 直栄、落合 雅彦

Ⅶ-4 再灌流療法前にST上昇の誘導が変化した急性心筋梗塞の一例

(広尾病院) 三浦麻利衣
吉田 精孝、鈴木 美波、小峰 征也、神崎 拓、
砂川 昌隆、津野 航、水沼 吉章、佐々木高史、
山岡広一郎、鯨岡 裕史、新井 智之、高橋 正雄、
北條林太郎、土山 高明、深水 誠二

Ⅶ-5 蜂毒によるアナフィラキシーから難治性心室細動に至ったKounis症候群の一例

(日本医科多摩永山病院循環器内科) 小山賢太郎
平山 浩章、寺門 誠雄、土井田祐子、橘 貴大、
菅原 一樹、齋藤 恒徳、中野 博之、小谷英太郎
(日本医科付属病院循環器内科) 浅井 邦也

Ⅶ-6 非典型的な症状で発症し、心停止を来しながらも救命しえた超高齢者の急性冠症候群の一例

(荏原病院循環器内科) 黒光 貴俊
戸田 幹人、青木 淳平、岡田 慈孝、野池 亮太、
細野 啓介、冠木 敬之、日吉 康長

一般演題 セッション7 虚血性心疾患2

10:05-11:05

座長 (NTT東日本関東病院循環器内科) 安東 治郎
座長 (帝京大学ちば総合医療センター内科) 天木 幹博
コメンテーター (上尾中央総合病院循環器内科) 中野 将孝
コメンテーター (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 立石 和也

Ⅶ-7 右冠動脈起始異常のため緊急カテーテル治療に難渋したが、緊急冠動脈CTが有用であった急性心筋梗塞の一例

(A O I 国際病院循環器内科) 米内 竜
鎌田 龍明、川島 朋之、前田 真吾、川端美穂子、
新 博次、平尾 見三

Ⅶ-8 高度石灰化冠動脈多枝病変に対し薬剤溶出性ステントと薬剤溶出性バルーンのハイブリッド治療を行なった一例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 太田 耶瑛
陣内 博行、坂倉 建一、伴 聡一郎、羽鳥 将史、
山本 慶、谷口 陽介、藤田 英雄

Ⅶ-9 ステント留置直後に血栓が発生しアルガトロバン冠注により改善したヘパリン起因性血小板減少症の一例
(昭和大学横浜市北部病院循環器センター内科)

好廣 勝哉
岡部 俊孝、伊藤 有輝、嶋津 英、大山 祐司、
磯村 直栄、落合 正彦

Ⅶ-10 発作性心房細動に対する肺静脈隔離術後に冠攣縮性狭心症が明らかとなった一例

(埼玉メディカルセンター) 中村 貴芳
平原 大志、松田 明歩、木葉 雄行、大木 初里、
鶴巻 良允、和田 浩、久保 典史

Ⅶ-11 Kounis症候群により心肺停止に至った一例

(千葉県救急医療センター循環器治療科) 高橋 雅史
橋本 理、木村 高志、若林 慎一、山岡 智樹、
前川 祐子、前川 潤平、佐野 雅則、酒井 芳昭

Ⅶ-12 OCTで責任病変を確認したST上昇型心筋梗塞の1例

(板橋中央総合病院循環器内科) 畠山 耀介
大塚 龍彦、室橋 輝、原田 歩美、千手 弘崇、
青島 千紘、沼尾 嘉美、貫 敏章、沼田 哲也、
佐久間儀広、中津 裕介、太田 洋

一般演題 セッション10 虚血性心疾患3

11:10-12:10

座長 (千葉メディカルセンター循環器内科) 山崎 正雄
座長 (長野赤十字病院循環器内科) 宮下 裕介
コメンテーター (岩槻南病院循環器内科) 飯野 立
コメンテーター (千葉県総合救急災害医療センター循環器内科) 若林 慎一

Ⅶ-13 健康診断の心電図異常を契機に診断されたSCADの一例

(心臓血管研究所付属病院) 佐久間真悠
嘉納 寛人、廣田 尚美、有田 卓人、八木 直治、
岸 幹夫、松野 俊介、鈴木 信也、加藤 祐子、
大塚 崇之、矢嶋 純二、山下 武志、上嶋 徳久、
及川 裕二

Ⅶ-14 冠動脈層状プラークを多種の冠動脈イメージングで確認し得た一症例

(国際医療福祉大学三田病院循環器内科) 木村 茂樹
田村 祐大、磯部 更紗、岩澤 仁、田村 雄一、
大門 雅夫、合屋 雅彦

Ⅶ-15 急性心筋梗塞患者の心肺停止に対する胸骨圧迫に起因する大量血胸のため救命し得なかった一例

(埼玉医科大学総合医療センター臨床研修センター/心臓内科)

永井 里奈
奥羽 慧
阿部 拓朗、奥田 希子、長堀 寛司、小形 円香、
河原 勇貴、安藤 敏行、石原 嗣郎、小宮山英徳、
井上 芳郎、重城健太郎

Ⅶ-16 高安動脈炎の左冠動脈主幹部狭窄に免疫抑制療法後の方向性冠動脈粥腫切除術を用いたPCIが有効であった症例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科)

古藪 陽太
金谷 智明、井上 莉理、西川 理壺、橋本 涼太、
廣瀬 優、米澤 泰、戸倉 通彰、西野 節、
佐久間理吏、阿部 七郎、豊田 茂

Ⅶ-17 冠攣縮性狭心症に伴う心筋梗塞発症と性差との関連

(多摩総合医療センター循環器内科)

本村 璃緒
安西 耕、岡部 龍太、三輪 祐仁、守井 悠祐、
櫻井進一朗、宮部 倫典、森永 弘章、西村 睦弘、
三ツ橋佑哉、加藤 賢

Ⅶ-18 消化管出血後に心室中隔欠損と左室瘤を伴う心筋梗塞を発症した1例

(国立国際医療研究センター病院)

村井 花奈
山本 純平、山本 正也、原 久男、廣井 透雄

ランチョンセミナー7

12:20-13:10

共催：田辺三菱製薬株式会社/日本イーライリリー株式会社

座長 (東京大学大学院医学系研究科循環器内科) 瀧本 英樹

「臨床試験をふまえて考えるマンジャロの活用」

(森山記念病院循環器センター)

清末 有宏

一般演題 セッション14 虚血性心疾患4

13:20-14:20

座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 飯島 雷輔

座長 (行田総合病院循環器内科) 興野 寛幸

コメンテーター (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 山崎 達朗

コメンテーター (東海大学医学部付属病院循環器内科) 佐藤 優

Ⅶ-19 3度目の心臓カテーテル処置後に心筋梗塞および脳梗塞を契機にヘパリン起因性血小板減少症と診断し得た症例

(筑波メディカルセンター病院初期研修医)

鈴木 良

(筑波メディカルセンター病院循環器内科)

森田 将平、篠内 和也、秋山 大樹、仁科 秀崇

Ⅶ-20 Killip IVの急性心筋梗塞後の機能性僧帽弁閉鎖不全症に対し経皮的僧帽弁クリップ術が有用であった1例

(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科・集中治療室)

瀬崎あやの

福泉 偉、細野 陽介、川村 崇、中島 悠希、

福山 曜、田中 匡成、酒井 伸、岡 英一郎、

黄 俊憲、細川 雄亮

(日本医科大学循環器内科)

浅井 邦也

Ⅶ-21 急性心筋梗塞に対して血栓溶解療法が奏功し、その診断、治療効果判定にOCT検査が有用であった1例

(日本医科大学千葉北総病院循環器内科)

築山 寛

諸岡 雅城、渡久地 陸、三室 嶺、小林 典之、

宮國 知世、合田 浩紀、柴田 祐作、栗原 理、

小林 宣明、高野 雅充

(日本医科大学千葉北総病院集中治療室)

谷 憲一、白壁 章宏

(日本医科大学付属病院循環器内科)

浅井 邦也

Ⅶ-22 急性心筋梗塞に急性心膜炎および心破裂を合併した1例
 (埼玉メディカルセンター循環器内科) 松田 明歩
 鶴巻 良允、中村 貴芳、木葉 雄行、大木 初里、
 和田 浩、平原 大志、久保 典史

Ⅶ-23 左冠動脈左室瘻に起因する労作性狭心症に対する治療の検討
 (春日部中央総合病院循環器科) 佐々木剛史
 中林 圭介

Ⅶ-24 喫煙のみのリスク因子を有する若年男性に明らかな前兆なく発症した心室細動の一例
 (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 松村 賢治
 南本 祐吾、北島 駿、吉井 智洋、堤 勝彦、
 桐ヶ谷 仁、中橋 秀文、菅野 晃靖、日比 潔

一般演題 セッション16 大動脈/静脈/末梢血管

14:30-15:50

座長 (東京通信病院循環器内科) 東谷 迪昭
 座長 (SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 安齋 均
 コメンテーター (北里大学循環器内科学) 橋本 拓弥
 コメンテーター (北里大学循環器内科学) 箸方 健宏

Ⅶ-25 感染性心内膜炎による全身の多発塞栓症と感染性腹部大動脈瘤破裂により死亡した1例
 (関東労災病院循環器内科) 井村 康平
 辻畑志帆子、吉川 浩介、大星 麻衣、吉竹功央一、
 野村 康介、荒井 研、山口 薫、渡辺 則和、
 柴田 正行、並木 淳郎

Ⅶ-26 下行大動脈に可動性のある壁在血栓を認め、抗凝固療法で消退した1例
 (帝京大学医学部循環器内科) 野田 信吾
 川嶋 秀幸、藤井美佐子、太田 龍哉、井関 洋成、
 片山 大河、山本 裕貞、片岡 明久、渡邊 雄介、
 横山 直之、上妻 謙

Ⅶ-27 化膿性心膜炎に続発した上行大動脈仮性瘤破裂の一例
 (高崎総合医療センター) 柴田 悟
 福田 延昭、太田 昌樹、村田 智行、小林 紘生、
 石橋 洋平、高橋 伸弥、羽鳥 直樹、千吉良彩花、
 高橋 洋右、瀬田 博貴、広井 知歳

Ⅶ-28 腎動脈瘤に対してステントグラフトとコイル塞栓術を用いた血管内治療を行い、奏功した一例
 (板橋中央総合病院循環器内科) 原田 歩実
 大塚 龍彦、室橋 輝、千手 弘崇、青島 千紘、
 沼尾 嘉美、貫 敏章、沼田 哲也、佐久間儀広、
 中津 裕介、太田 洋

Ⅶ-29 縦隔穿破を合併した偽腔開存型急性上行大動脈解離に対して保存的加療で自宅退院した超高齢の1症例
 (山梨大学医学部附属病院/山梨病院) 田中 和正
 (山梨病院) 出山順太郎、猪野 友里、菅又 渉、石原 司

Ⅶ-30 大動脈閉鎖不全症から発覚したバルサルバ洞限局性解離
 (武蔵野赤十字病院循環器科) 竹部 温子
 小田中勇樹、足利 貴志、野里 寿史、永田 恭敏、
 李 哲民、金子 雅一、宮崎 亮一、三澤 透、
 埜本 優太、長瀬 将、堀江 知樹、照井 麻央、
 加地 大悟、松田 和樹、内藤 倫人、小井土文香

VII-31 若年女性の深部静脈血栓症に対してモンテプラーズを使用した一例

(三井記念病院循環器内科)

芦浦 大輝

小宮山浩大、伊藤 和繁、日下部裕胤、下野 里奈、
土井 脩平、三木 広亮、桂 茉衣、北村 駿、
下地 由華、西村 陽平、根本 脩平、大島 旭、
権田 勇樹、堀内 優、阿佐美匡彦、矢作 和之、
湯澤ひとみ、田中 旬、青木 二郎、田邊 健吾

VII-32 膝窩動脈捕捉症候群診断後、手術までに閉塞長が拡大した一例

(千葉県済生会習志野病院)

尾崎 僚

立林 卓、鈴木 雅博、蒔田憲太朗、豊吉 紘之、
藤内 裕一、白石 博一、横山 健一、坂本 直哉、
小林 智

医療安全・医療倫理に関する講習会 (DVDセッション)

16:00-18:00

本セッションでは、第87回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

スタンフォード大学式！
バイオデザイン Workshop In 東京
日頃の医療現場で感じるニーズを 医療機器の開発に繋げてみよう！

主催：日本循環器学会 基本法・5カ年計画検討委員会
会場：ステーションコンファレンス東京 6F「606」

Workshop：11:00-14:00

Workshop Tutors：(大阪大学医学部附属病院 心臓外科/A-wave株式会社) 榊田 浩禎
(大阪大学医学部附属病院 循環器内科/株式会社リモハブ) 谷口 達典
(東京大学医学部附属病院 小児外科/株式会社HICKY) 林 健太郎

Introduction：11:00-11:15

「スタンフォード大学式医療機器開発」

講師：(大阪大学医学部附属病院 心臓外科/A-wave株式会社) 榊田 浩禎

第1部：11:30-12:30

「良いニーズをどう見つけるか」

講師：(大阪大学医学部附属病院 心臓外科/A-wave株式会社) 榊田 浩禎

第2部：12:35-13:15

「良いアイデアをどう出すか」

講師：(大阪大学医学部附属病院 心臓外科/A-wave株式会社) 榊田 浩禎

第3部：13:15-14:00

「どう実践するか」

講師：(大阪大学医学部附属病院 循環器内科/株式会社リモハブ) 谷口 達典

- *先着12名となります。事前申込制のため当日定員となっている場合があります。あらかじめご了承ください。
- *本プログラム単独受講による、地方会単位取得は致しかねます。あらかじめご了承ください。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹岡町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(副支部長)

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

- 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
- 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
- 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を順守しなければならない。

(支部役員)

第5条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第7条

2. 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習会担当幹事1名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事1名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第8条

2. 支部規程第10条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より15日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の3項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65歳以下で7年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去5年間に3演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

第9条

2. 支部規程第11条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より15日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自

己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。

5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第12条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。

10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めたとおりとする。

(JCS-ITC 講習会)

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

令和5年10月1日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。
2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。
2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。
1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂



アムジェン株式会社 **AMGEN**[®]

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを



アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に
米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。
バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、
以来、探求を重ねてきました。

40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の
独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。

日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、
神経疾患の領域に重点を置き、
アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社の
詳細につきましては
こちらをご覧ください

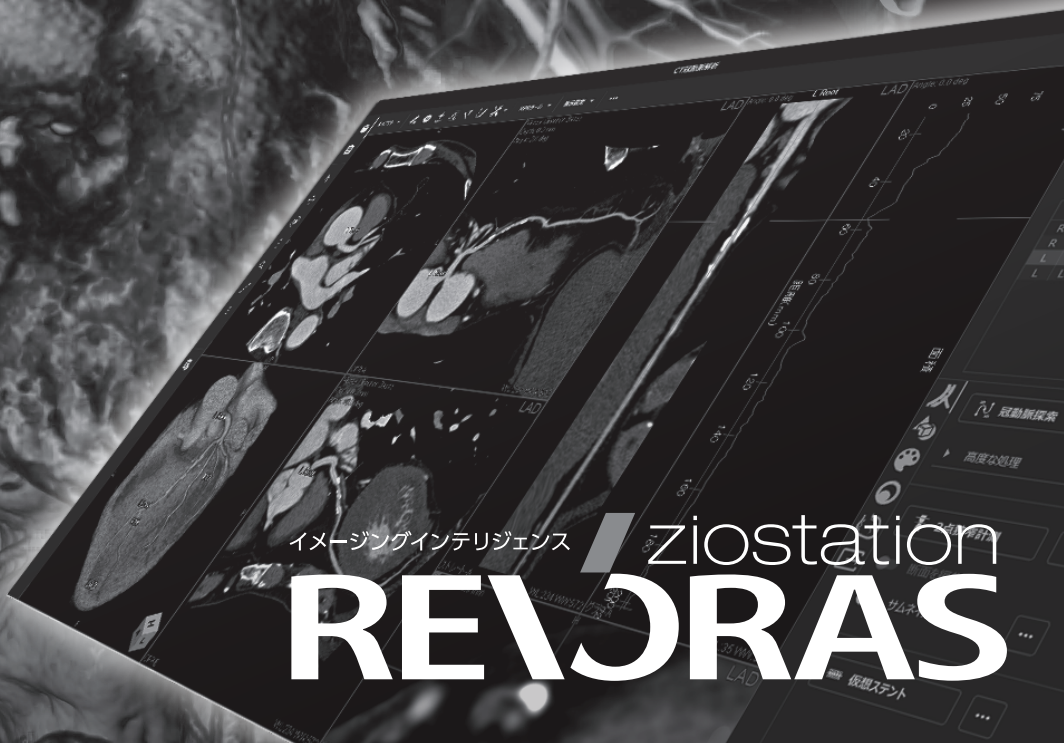


Smart Imaging

“みる”をシンプル、スマートに。

独自の技術性能Revorabilityで
より高度な認識、解析、描写を実現するREVORAS。
高機能・高性能でありながらシンプルな操作性で
驚異的なイメージングを可能にします。

Revorability



イメージングインテリジェンス

ziostation

REVORAS



一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション 販売名：ザイオステーション レヴォラス R L 認証番号 304ABBZX00001000





株式会社ほくやく・竹山ホールディングス

HOKUYAKU
TAKEYAMA
HOLDINGS



「医師、医療スタッフとともに
人々の生命と健康を守る」という
創業以来の使命感のもと
社会貢献度の高い仕事と
誇りを持ち、
日々努力を続けております。

生命と健康への貢献

血液浄化

低侵襲機器

内視鏡

整形外科

「専門領域に特化した支援・サポート」

眼科

脳神経外科

ニーズにお応えするため、それぞれの診療・治療に
特化した専門担当部門を設けています。

テクニカルサポート

循環器

循環器外科

画像診断機器



株式会社 **竹山**

本社 / 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目1番地5

☎011-611-0100 (代表)

代表取締役社長 土田 拓也

<https://www.takeyama.co.jp>

●ほくたけメディカルトレーニングセンター「ヴィレッジプラス」/札幌市中央区北11条西14丁目1番1号(ほくやくビル4F)・☎011-700-5833 <https://www.takeyama.co.jp/villageplus/>

充実した拠点網によるきめ細やかな営業体制

札幌圏 中央支店:☎011-859-8714 北支店:☎011-789-1020 新札幌支店:☎011-859-8717
北大支店:☎011-859-8712 札幌大支店:☎011-859-8713 西支店:☎011-668-2526
札幌駅前センター:☎011-859-8711 札幌駅前センター:☎011-676-6263 札幌駅前センター:☎011-859-8722

道東・道北圏 釧路支店:☎0154-25-2241 北見支店:☎0157-31-3224 帯広支店:☎0155-35-5800
旭川支店:☎0166-73-3011 旭川大支店:☎0166-73-3011 旭川駅前センター:☎0166-73-3011
空知支店:☎0125-54-3465 道北支店:☎01654-3-9955

道央・道南圏 室蘭支店:☎0143-45-1221 苫小牧支店:☎0144-53-2101 小樽支店:☎0134-29-4524
岩見沢支店:☎0126-25-6992 函館支店:☎0138-83-5000

首都圏 東京支店:☎03-3814-0103 横浜営業所:☎045-232-3310



「新しい医療周辺ビジネスの構築」
を通じて社会に貢献していきます

株式会社 ウィン・インターナショナル

本社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号 京橋エドグラン 21階
TEL 03-3548-0788

※お近くの拠点はここから



経皮吸収型・ β_1 遮断剤 薬価基準収載

処方箋医薬品(注意一医師等の処方箋により使用すること)

β ビソテープ[®] 2mg・4mg・8mg

(ピソプロロール・テープ剤) *Bisono tape 2mg・4mg・8mg*



製造販売

■効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等詳細は、製品添付文書をご参照ください。

2021年10月作成 BTA4207D

[文献請求先・お問い合わせ先] トアイヨー株式会社 信頼性保証部 / 電話 0120-387-999



非イオン性尿路・血管造影剤

イオプロミド 300注 20mL・50mL・100mL
370注 20mL・50mL・100mL
300注シリンジ 50mL・80mL・100mL 「BYL」
370注シリンジ 50mL・80mL・100mL

処方箋医薬品(注意一医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

※ 効能又は効果、用法及び用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては、製品添付文書をご参照ください。

Clear Direction. > From Diagnosis to Care.



Bayer

製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

バイエル薬品株式会社

大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001

<https://pharma.bayer.jp>

[コンタクトセンター]

0120-106-398

<受付時間> 9:00~17:30(土日祝日・当社休日を除く)

Iopromide「BYL」

2022年4月作成

PP-10PR-JP-0124-31-03



2型糖尿病治療剤 経口GLP-1受容体作動薬

薬価基準収載

リベルサス[®]錠 3mg
7mg
14mg

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む
注意事項等情報等については、電子添文を
ご参照ください。

劇薬 処方箋医薬品(注意—医師等の処方箋により使用すること)

セマグルチド(遺伝子組換え)

製造販売元<文献請求先及び問い合わせ先>

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1

www.novonordisk.co.jp

Tel 0120-180363(フリーダイヤル)

販売提携<文献請求先及び問い合わせ先>

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア

<http://www.msd.co.jp/>

Tel.0120-024961(フリーダイヤル)



JP23RYB00256
RYB23AD0185
(2023年12月作成)

患者さんの

Quality of Lifeの向上が

私たちの理念です。



TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD005-TB-2103-1



■効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報については、電子添文をご参照ください。

経口FXa阻害剤

処方箋医薬品※ 薬価基準収載

エリクセス[®]錠 2.5mg
5mg

Eliquis (アピキサiban錠)
Eliquis® tablets

注)注意—医師等の処方箋により使用すること

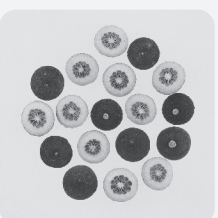
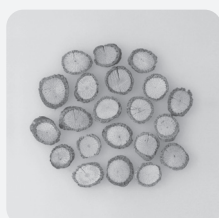
製造販売元 プリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社

〒100-0204 東京都千代田区大手町1-2-1
文献請求先及び問い合わせ先：メディカル情報グループ TEL.0120-093-507
販売情報提供活動に関するお問い合わせ窓口：TEL.0120-487-200

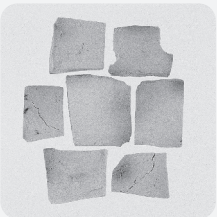
販売元 ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
文献請求先及び製品の問い合わせ先：
製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467
販売情報提供活動に関するご意見：0120-407-947

2022年10月作成
432-JP-220035304 / ELQ72F005H



生薬には、
個性がある。



漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)



Coroflex® ISAR NEO

Sirolimus Eluting Polymer-Free Coronary Stent System

販売名：Coroflex ISAR Neo コロナリーステント
医療機器承認番号：30200BZX00213000
クラス分類：クラスIV(高度管理医療機器)
一般的名称：冠動脈ステント
特定保険医療材料請求区分：心臓手術用カテーテル 冠動脈用ステントセット 再狭窄抑制型

SeQuent® Please NEO

DRUG COATED BALLOON CATHETER

販売名：SeQuent Please Neo ドラッグ イルーティング バルーンカテーテル
医療機器承認番号：30200BZX00085000
クラス分類：クラスIV(高度管理医療機器)
一般的名称：冠血管向ナリールン拡張式血管形成術用カテーテル
特定保険医療材料請求区分：心臓手術用カテーテル 経皮的冠動脈形成術用カテーテル 再狭窄抑制型



製造販売 ニプロ株式会社

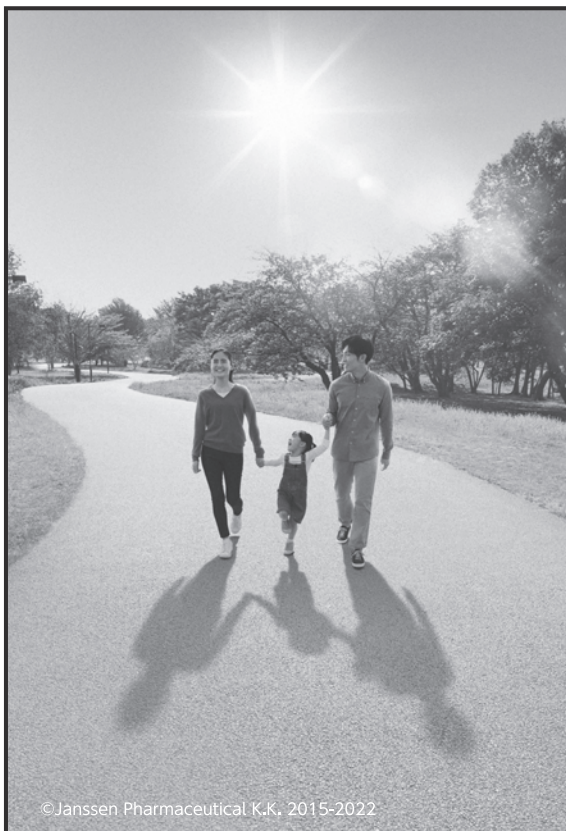
資料請求先
バスキュラー事業部
名古屋市中区栄3丁目番地3号
KDX名古屋栄ビル5階



製造(輸入元)：
ビーブラウン メルズンゲンAG。
B. Braun Melsungen AG。
Vascular-Systems

Coroflex®, SeQuent® は B. Braun Melsungen AG. の登録商標です。

2023年10月作成



© Janssen Pharmaceutical K.K., 2015-2022



創薬・処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

エンドセリン受容体拮抗薬

薬価基準収載

オプスミット®錠10mg

Opsumit 10mg マシテンタン錠

- 「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元(文献請求先・製品情報お問い合わせ先)

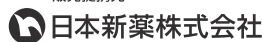
ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

<https://www.janssen.com/japan/>

<https://www.janssenpro.jp> (医薬品情報)

販売提携先



日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

2022年1月作成



アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)

薬価基準収載

エンレスト錠 50mg
100mg
200mg

Entresto® Tablets サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物錠

処方箋医薬品 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、
禁忌を含む注意事項等
情報等につきましては
電子添文をご参照ください。

製造販売

(文献請求先及び問い合わせ先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

ノバルティス ダイレクト

販売情報提供活動に関するご意見

TEL: 0120-003-293 TEL: 0120-907-026

受付時間: 月—金 9:00—17:30 (祝祭日及び当社休日を除く)

提携

大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先

大塚製薬株式会社 医薬情報センター

〒108-8242 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー

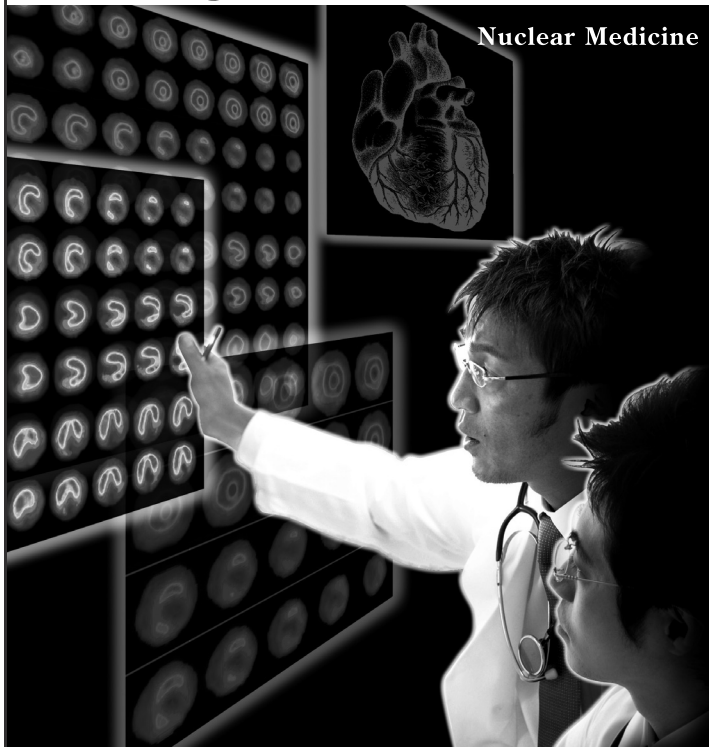
ENR00006IH0003

2023年2月作成

ER2302024

nihon
medi+physics

Nuclear Medicine



処方箋医薬品^(注)

薬価基準収載

心臓疾患診断薬、副甲状腺疾患診断薬
放射性医薬品 腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔)診断薬

塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注NMP

日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注射液

処方箋医薬品^(注)

薬価基準収載

放射性医薬品・心疾患診断薬

カルディオダイン® 注

放射性医薬品基準15-(4-ヨードフェニル)-
3(R,S)-メチルベンタデカン酸 (¹²³I) 注射液

処方箋医薬品^(注)

薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー® 注シリンジ

放射性医薬品基準テトロホスミンテクネチウム (^{99m}Tc) 注射液

処方箋医薬品^(注)

薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオビュー® 注射液

放射性医薬品基準テトロホスミンテクネチウム (^{99m}Tc) 注射液調製用

®:登録商標

注)注意-医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

資料請求先



日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトでSPECT検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂

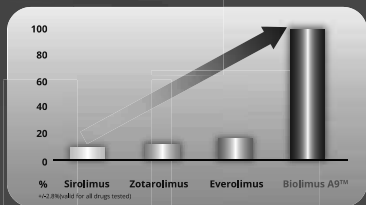
BIOFREEDOM[™] ultra

POLYMER-FREE DRUG-COATED STENT

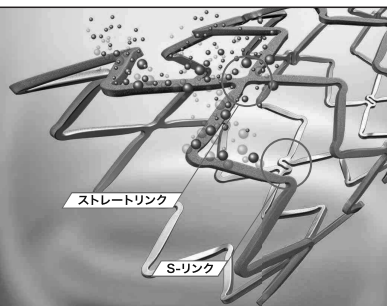
- 細胞増殖抑制性能を示すリムス系薬剤BA9
- 高い親油性により、素早く組織に浸透し、細胞に取り込まれます
- 高い局所的バイオアベイラビリティ:
 - 標的病変への持続的な薬剤のリリースが可能¹⁾
 - 一般的なリムス系薬剤より半減期が長い¹⁾

1: Biosensors International data on file

BA9[™] drug 10 times more lipophilic than Sirolimus



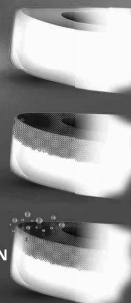
- 販売名: BioFreedom Ultra 薬剤コートドステント
- 医療機器承認番号: 30400BZX00081000



STENT
PLATFORM

SMS
TREATMENT
(ABLUMINAL SURFACE)

DCS
BA9 APPLICATION
DIRECTLY ON
THE STENT



Powered by



【製造販売元】



日本バイオセンサーズ株式会社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-6 D'sVARIE神田錦町 3F
TEL.03-6811-7910 FAX.03-6811-7912
www.biosensors.com

【お問い合わせ先】



株式会社 カネカメディックス
<https://www.kaneka-med.jp>

東京 ■ 営業 〒107-8028 東京都港区赤坂1-12-20 (アークヒルズ)
大阪 ■ 営業 〒539-8288 大阪府住吉区津島2-2-18 (住友ビルヂングス11ビル)
大塚 ■ 営業 〒103-8288 東京都文京区大塚2-2-18 (住友ビルヂングス11ビル)
TEL.03-3181-4100 TEL.050-3181-4090



高脂血症治療剤

薬価基準収載

パルモディア[®]錠 0.1mg

PARMODIA[®] TAB. 0.1mg (ベマフィブラート錠)

処方箋医薬品・注意-医師等の処方箋により使用すること

高脂血症治療剤

薬価基準未収載

**パルモディア[®]XR 錠 0.2mg
錠 0.4mg**

PARMODIA[®] XR TABLETS 0.2mg・0.4mg(ベマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品・注意-医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2023年8月作成

TERUMO
INTERVENTIONAL
SYSTEMS

PUSHING BOUNDARIES
医療の未来を、共に切り拓く。

カテーテル処置後の確かな止血に。

Angio-Seal™ VIP

Vascular Closure Device



イメージ図

確かな止血を目指した 簡便でやさしい止血デバイス

Angio-Sealは、穿刺部血管壁の内側と外側から挟み込むことで、止血する止血デバイスです。体内に留置する全ての素材(アンカー、コラーゲンスポンジ、スーチャー)は、60-90日で生体吸収されます。

一般的名称：コラーゲン使用吸収性局所止血材 販売名：アンジオシール 医療機器承認番号：21900BZY00056000

※本製品の詳細は電子添文をご参照ください。

記載されている社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。